

くらしの工芸展

35年の

歩み展

2018年10月2日(火)ー11月25日(日)

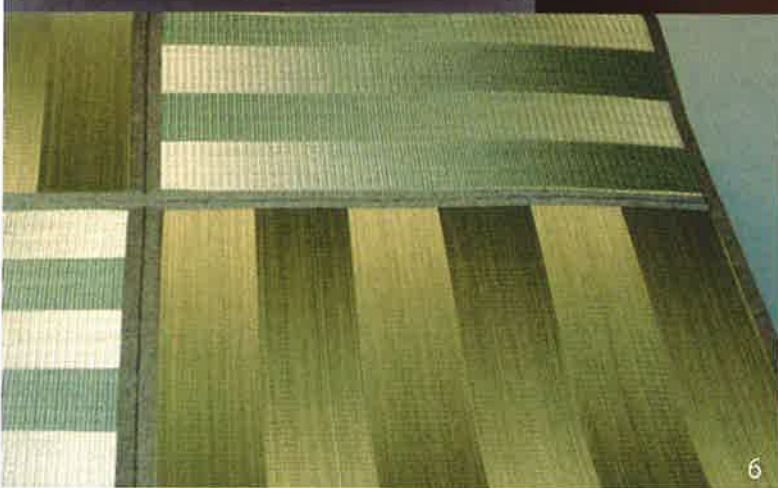
主催：一般財団法人熊本県伝統工芸館・熊本日日新聞社

開館時間：午前9：00～午後5：00

休館日：月曜日（月曜が祝日の場合、翌日）

入場料：一般 210円(140円)・大学生 130円(100円)・小中高生無料
 ()内は20名以上の団体料金

熊本県伝統工芸館 2階企画・常設展示室



歴代グランプリ作品：1. 第32回(2014) 島田真平 青波文大皿 台付 2. 第29回(2011) 太田尚美 つづらの二重角籠「心地」
 3. 第26回(2008) 眞弓澄子 銘々オーダブル皿5枚組 4. 第30回(2012) 大橋重臣 ペンダントライト「tall」・「short」 5. 第18回(2000) 河上保子 染のインテリア間仕切りのれん
 6. 第23回(2005) 平住政光 い草ジュウタンリバーシブル蒼源たみくん小 7. 第21回(2003) 中山貴規 育み椅子



8. 第2回(1984)
松本正親 阿蘇埋木造拭漆入子重



9. 第17回(1999)
大江啓司 魚姿籠

第36回 くらしの工芸展2018

2018年
日時 10月30日(火)～11月4日(日)
時間 午前9時～午後5時
(初日は午前10時から、また最終日は午後4時まで)
場所 熊本県伝統工芸館1階展示室

◎開会式と表彰式

- ・日時/10月30日(火) 9:30～
- ・会場/熊本県伝統工芸館 1階工房

◎作品解説・工芸のつどい

- ・日時/10月30日(火) 閉会式終了後
- ・会場/熊本県伝統工芸館 1階工房

くらしの工芸展は、伝統工芸館が開館した翌年の1983年に伝統工芸館と熊本日日新聞社との共催で始まりました。現代のくらしの中に生きる新しい工芸づくりを目指した、手仕事の温かみや知恵を生かした工芸作品の公募展でした。

第1回展は、熊本県宇城市松橋町出身の工業デザイナー、故・秋岡芳夫氏を審査員に迎えて開催されました。民藝、伝統工芸、クラフト、ホビークラフトなど幅広い工芸品261点の応募があり、「詠えが利く」、「後世に残すべき技術」、「用のデザイン」、「豊かな遊び心」の4つの観点審査のモノサシとして審査されました。今年で36回目の開催となるくらしの工芸展には、毎年、県内外、プロ、アマの作り手から多くの作品が寄せられています。

今回はくらしの工芸展の35年の歩みを、歴代グランプリ受賞作品とともに振り返ります。くらしの工芸展の原点である、使い手が求める使いやすく洗練されたくらしを楽しむ工芸品とはどんなものなのかを考える機会にしたいと思います。

くらしの工芸展 35年の 歩み展



会場風景：1.第1回展(1983) 2.第19回展(2001) 3.第16回展(1998)



一般財団法人 熊本県伝統工芸館

〒860-0001 熊本市中央区千葉城町3-35
TEL:096-324-4930 FAX:096-324-4942
URL:<http://kumamoto-kougeikan.jp>

- 交通アクセス/バスで「市役所前」、市電で「熊本城・市役所前」下車、徒歩5分
- 熊本城周遊バス「KKRホテル熊本前」下車
- ※駐車場が狭いので、公共交通機関をご利用ください。

「工芸ショップ匠」

陶磁器・竹工芸品・木工品・染織品など、熊本県の工芸品を多数販売しています。入館料は不要です。

